

記事転載許可番号：d20190930-003

「夢のJ挑戦 長所生かしピッチに」

トップ昇格

三原が抱負

愛媛FC

来季からトップチームに昇格する愛媛FC U-18（18歳以下）のDF三原秀真（18）が24日、在学する聖カタリナ学園高（松山市藤原町）で会見し、「夢だったプロになれてうれしい。長所を生かし、公式戦のピッチに立てるよう頑張りたい」とJリーグ挑戦の抱負を語った。三原は松山市出身で、身長172センチ、体重66キログラム。帝人サッカースクールを経て愛媛FC U-18に進んだ。豊富な



クラブや学校関係者と会見し、トップチーム昇格への意気込みを語った愛媛FC U-18の三原秀真（右から2人目）＝24日、松山市藤原町

運動量と攻守での対人能力の高さが武器で、左右のサイドバックやウイングバックを主戦場とする。今季は6月にU-18日本代表に初選出され、その後も定

着している。

三原は会見で「プレースタイルは長友佑都選手（西条市出身）と似ている。今年には代表に選ばれ、プレーの幅を広げたい」と自らの特長を

説明。同席した児玉雄一強化部長は「1年生の頃から成長を追ってきた。トップの練習に来ても落ち着いていて、期待を抱かせてくれる」と昇格の理由を話した。

下部組織からのトップ昇格は、岩井柘弥、渡辺創太に続き2年連続。Jリーグの試合に出場できる2種登録選手の手の三原は「昨季岩井が先にプロデビューしたのを見て、すごく悔しかった。今季中に出場するつもりでやる」と意気込んだ。（柳生秀人）

動画 ニュース



2次元コードをスマートフォンやタブレット端末で読み込むと、動画をご覧いただけます。